


令和 3 年 8 月 2 日

令和 2 年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜 都・道・府・ 		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
富加町立富加小学校	富加町教育委員会	国・  ・私

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
富加町立 富加小学校	www.tomika-es.tomika.gifu.jp/ www.tomika-es.tomika.gifu.jp/?page_id=105	www.tomika-es.tomika.gifu.jp/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

- ・第 1, 2 学年について、生活科の時間を 15 時間削減して外国語活動に充てた。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

- ・近隣の市町では、外国人児童生徒の在籍する割合が高い。隣接する美濃加茂市は令和 3 年 4 月時点で人口の 9.2% を外国人が占める。本町富加町は人口 5,700 人のうち 168 人の外国人居住者がおり人口の 2.9% である。しかし、この数字は毎年確実に増えており、10 年前（平成 23 年）の 1.8% と比較すると、今後、他国の文化を理解し尊重する態度や確かなコミュニケーション能力をさらに求められることが推察される。このことは学校教育においても同様である。
また、本町の児童が進学する双葉中学校は、先に述べた美濃加茂市との組合立である。美濃加茂市では、平成 28 年度から、全中学校区において特例校制度で英語科の取組を始めその充実を図っている。中学校での英語科の学習の円滑なスタートのためにも、美濃加茂市との連携を図りながら推進していく必要がある。

(3) 特例の適用開始日

平成 28 年 4 月 1 日

平成 30 年 4 月 1 日 変更

(4) 取組の期間

令和 5 年 3 月 31 日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

計画通りの時間数を実施したが、計画の中に新型コロナウイルスの感染症対策との両立が難しい活動があったため、感染リスクが高い学習活動は計画通りに実施することができなかった。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

<特記事項>

授業参観の機会を利用して保護者に外国語科の授業を公開したり、学校ホームページ等を活用したりしながら、取り組みの様子を保護者や地域に知らせている。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

富加町の園・学校数は、小学校1校、こども園1校である。町内のほとんどの園児がとみかこども園に通っている。生活科や保育活動で小学生と園児とが交流したり、お互いの施設を訪問したりして、教育活動・保育活動の計画で連携している。その中で、小学校のALTが、こども園での英語に親しむ活動の講師も務めており、幼児期から切れ目なく外国語に親しむことができるように計画している。

小学校においては、3年生で外国語活動が始まるまでの1、2年生の期間も、教育課程の特例を受け、切れ目なく外国語に慣れ親しむ活動を続けコミュニケーション能力を養っている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

令和2年度1年生から5年生までの児童、保護者、教職員対象に、外国語活動についてのアンケートを行い、下記のような結果であった。

【児童アンケート（単位：％）】

1：楽しくない 2：どちらかという楽しくない 3：どちらかという楽しい 4：楽しい

	質 問	3・4の割合
Q1	英語科・外国語活動の時間は楽しいですか。	81.1

1：使っていない 2：どちらかという使っていない 3：どちらかという使っている 4：使っている

	質 問	3・4の割合
Q2	英語科・外国語活動で学んだことを、日常生活の中で使っていますか。	51.7

【保護者アンケート（単位：％）】

1：していない 2：どちらかというしていない 3：どちらかというしている 4：している

	質 問	3・4の割合
Q1	お子さんは、英語科・外国語活動を楽しみにしていますか。	81.9

1：していない 2：どちらかというしていない 3：どちらかというしている 4：している

	質 問	3・4の割合
Q2	お子さんは、日常生活の中で、英語科・外国語活動で学んだことを使おうとしていますか。	67.9

令和2年度から学校評価の一部に外国語に関する教育活動についての評価項目を取り入れた。今後も続け、経年比較の成果と課題を行っていく。

令和2年度の結果から分かることとして、「子どもと保護者において、外国語活動を楽しみにしている」のポイントが高く、「子ども、保護者、教員ともに、日常生活の中で学んだことを生かそうとする意識」が低くなっている。外国人住民や外国人児童生徒が身近に少なく、学んだ言語を日常生活の中で話すことは少ないという捉えだと推察される。しかし、外国語活動で学んでいるのは言語のみでなく、各国の言語・文化・風習等について学び、それぞれの国の特徴やよさ、各々の国が独自性をもっていることのよさについて考えることを通して、豊かな人間性や人権感覚等を養っている。そのような学びが学校生活や総合的な学習で生かせるように見直し等を行い、今年度以降の指導の改善に役立てていきたい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示すような課題を踏まえて、令和5年度まで継続する方向で本特例の改善を図ることが必要と考えられる。

改善のための取組の方向として、県の第3次教育ビジョンに基づき推進する施策の「ふるさと岐阜、ふるさと富加」を学ぶふるさと教育の充実を図る中で、外国語活動・外国語科で学んだことを生かして、岐阜への愛着をもち世界に視野を広げ活躍する人材の育成をめざすことができると考える。